



# 東 侯 野 7月号

東侯野小学校 学校だより

令和4年6月30日

みんなちがって みんないい

副校長 中山 純子

金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」をご存じでしょうか。100年以上たった今も親しまれている詩です。CMに使われたり、

教科書に載っていたりしたので、知っている人もたくさんいると思います。

周りの人を見てみると、同じクラスの人でも、自分と同じ人は一人もいません。得意なこと苦手なことも一人ひとり違います。例えば私は、絵を描くことがとても苦手で図工がある日は学校に行くのが憂うつでした。でも逆に走ることや体を動かすことが得意だったので、体育がある日は朝からわくわくしていました。みんなの前で話すことは得意でしたが、じっとしていることは苦手でした。小さい頃から背が小さかったので、背が大きい人のことをうらやましいなと思ったこともありました。

でも、みすゞさんの言う通り、一人ひとり、顔も体も性格も得意なこと苦手なこともみんな違います。だからこそ、いろいろな考え方を出し合えて学校は楽しいのです。自分に自信をもってください。自分のことを大切に思い、自分のことを好きになってください。

そして、それと同時に、友達のことを大切にしてください。自分を大切にすることと同じように友達のことを大切にしてください。自分と友達の考えが違うのは、当たり前のことなのです。自分と違うから何か嫌だなと感じてしまうのは間違いです。自分ばかりに重点が置かれてしまうと、それはわがままになってしまい、うまくいきません。友達にも自分にもそれぞれに良いところがあります。その良さを見つけられる人になってください。

東侯野小のみんなには「あなたがいて私がいる。あなたと私 どちらも大切。」と考え、互いの違いを認め、大切にしていけることができるような人になってほしいです。

私と小鳥と鈴と	金子みすゞ
私が両手をひろげても	
お空はちつとも飛べないが	
飛べる小鳥は私のように	
地面を速くは走れない	
私からだをゆすつても	
きれいな音は出ないけど	
あの鳴る鈴は私のように	
たくさんな唄は知らないよ	
鈴と小鳥と それから私	
みんなちがってみんないい	